

☆第2土曜日・観察会

この日は予報通りの雪となりました。朝方に雪が降ると、夜の間に、いきものたちの足跡が雪に埋もれてしまうので、足跡探しの森歩きには出かけずに、小屋の中でもできる観察会を行いました。名付けて「遊林会・第1回色合わせ大会」を実施しました。



遊林会オリジナル竹柵です！

日本の色の名前は、自然や四季とつながっていることが多いです。自然を感じる色は、苔色、柿渋、鴉色（ときいろ）など。季節を感じる色は、若竹色、萌葱色、山吹色、藤色、露草色、桜色など。それぞれの色見本を用意しておき、色の名前と解説を読んで、それがどの色かを当ててもらいました。みんなう〜んと悩み、考えながら答えを書いてくれました。調べていて、面白かったエピソードを紹介します。それは萌葱色（もえぎいろ）。萌黄色、萌木色ともいい、新緑の葉、萌芽、山繭（ヤマユガの繭）、そして蚊帳の色。蚊帳の色といわれても、スタッフにはピンとこないのですが、蚊帳と言えば萌葱色に縁が赤い布、そしてそれを考案して、広がったのが近江蚊帳とのこと。考案したのは、江戸時代の近江商人『西川甚五郎』。そしてそれが現代では「ふとんの西川」さんらしいです。その西川さんのホームページによると、

江戸に向かう箱根越えで疲れてうとうと…
→寝ぼけて起きたら、緑の色がきれいや〜…
→これはまるで仙人の世界やなあ〜…
→はっ！じゃあ、この色で蚊帳を作ったら、寝ても覚めても気持ちや和んで、いいやん！
という流れだそうです。それが蚊帳の代名詞である近江蚊帳のエピソードです。つまり、萌葱色、植物の新緑の色は昔から心を落ち着かせ、和ませる力があつたということですね。

今年の新緑は、そういったことに想いを馳せながら見てはどうでしょうか？

☆第2土曜日・作業内容

前日から降り続く雪の影響により、作業内容を急遽変更し、みんなでテントの下でできることをしました。

1. 一代目ファイヤーサークルのフタの解体

一代目のファイヤーサークルのフタが古くなったので、バールやドリルを使ってフタの解体をしました。この一代目のフタは、約2年前に木ままクラブの作業で作ったものです。秋になると毎日焼き芋を焼くので、雨の日でも焼き芋がちゃんと焼けるように、ファイヤーサークル内の灰を濡らさないための雨避け用のフタでした。最近雨漏りするようになってきたので、役目を終えての世代交代です。



2. 二代目ファイヤーサークルのフタ作り（塗装）

保全作業、森を明るくしました

二代目のファイヤーサークルのフタに防腐剤塗りをしました。この二代目のフタは、1月の木ままクラブで組み立てたものです。強風が吹き荒れ雪が降りしきる過酷な状況でしたが、みんなで協力して短時間で作業を終えることができました。

3. ネイチャーセンター内ジオラマ掃除

ネイチャーセンターの中央に設置している河辺いきものの森に隣接している愛知川流域のジオラマをきれいにする作業は、子どもたちが活躍してくれました。普段は手の届かない部分もピカピカにしてくれたので、センター内がより一層明るく見えました。

4. 昼食作り

お楽しみの昼食のメニューは、かす汁、湯豆腐、大根煮、キャベツとゆり根の温野菜でした。休憩には甘酒を飲んで、心も体もポッカポカになりました。

雪がまだまだ降り続くようだったので、午後からの作業は中止しました。足下の悪い中でしたが、たくさんの方に参加していただきありがとうございました。

3月8日（第2土曜日）、26日（第4水曜日） 9時～（遅刻可）

遊林会の作業会議は **3月5日（水） 午後5時頃** *時間変更しています

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先（遊林会事務局）：滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL : <http://www.yurinkai.org/>

E-mail : ikimono@e-omi.ne.jp

森のブログは「かわべえブログ」で検索！

☆第4水曜日の作業

森の正面入り口から、駐車場前にむけて竹柵を作る作業を行いました。ここには10年以上前に八日市南高校生たちが立派な竹柵を作ってくれたのですが、年月を経て破損がひどくなったため、その竹柵を撤去し、新たな竹柵を作ろうと2月の木ままクラブから試行錯誤をしながら作り始めています。

竹柵の材としてはマダケが良いのですが、この森には細めのハチクしかないため、地元の方のご厚意により、近くの竹林からマダケを切らせてもらいました。延長47.6mもあるのではなかなか手間がかかりますが、木ままクラブから数えて通算3回目となるこの日の作業で、23.6mまで作る事ができました。その様子は「かわべえフォトログ」で紹介しています。あと2回ほどで完成しそうなので、とっても楽しみです！

お昼は、親子丼、カブとこんにゃくのフキ味噌和え、アサリの酒蒸し、きんぴらにおひたし、サラダ、キウイと今日も盛りだくさんのメニューをおいしくいただきました。

☆2月の木ままクラブ

2/13 12人

河辺の森の入口の竹柵のリニューアル。まずは一区画作ってみようということで、アイデアを出しながらやりました。喧々諤々、最後は遊林会オリジナル竹柵の方向性がばっちり決まりました。

2/20 13人

前回に引き続き、竹柵の続きです。高さや太さをしっかりと合わせ、黒のシュロ紐を、男結びで仕上げていくと、とても見栄えのする、立派な竹柵ができあがっていききました。

3月の活動は13日、20日です。

☆スタッフルーム情報

2月は学校の来訪はありませんでしたが、保全活動、イベントの準備や、今後の遊林会についての会議、森の展示作成などの仕事を行っていました。また、NPO 法人化にむけての話し合いも行っており、2014年度の設立を目指しています。進捗状況についてはまたお伝えします。

森には少しずつ春の兆しが見られます。紅梅が咲き出し、フキノトウも顔を出しました。木々の冬芽はまだかたく閉じていますが、少しずつ膨らんでいます。春休みには、子ども向けのイベントや、事前申し込み不要のクイズラリーも行うため、にぎやかな森がまたやってきます。

鳥の声を聞きながら森をゆっくり散策できるのも、あとわずかです。

☆モリイコ！の子どもたち

4月から始まった2013年度のモリイコ！の活動もいよいよ最終回となりました。

モリイコ！Sでは、子どもたちの家族も一日一緒に活動をしました。まずは森探検。子どもたちが隊長となって道はもちろん、実のありかなどを家族の人に教えてくれました。午後からはみんなでバウムクーヘン作りをしました。そのためにノコギリを使って竹を切ったり、たき火をつけます。ここで前回練習をした他の人に「伝える」ことの実践です。子どもたちは、お父さんの方がよく知ってるもん～などと言いながらも、やり方・使い方を説明をしていました。家族の人に説明している姿は、堂々としていて、誇らしげな表情でした。一時間かけてみんなでじっくり焼いたバウムクーヘンも美味しくいただき、楽しい時間を過ごせました。

モリイコ！は、最後に森を守る体験をしてもらうために常緑樹の伐採を行いました。始めにどうして森を守るために木を伐るの？ということはこの森に住むいきものたちのことを例に挙げながら話をしました。そしてヘルメットをかぶりノコギリを持って森へ行きます。細いアラカシの木を3～4人で交替しながら伐っていききました。伐った木は薪用に切り分けるので、何度もノコギリを使います。細いと言っても子どもたちの腕くらいの太さがあるので、子どもたちは頑張って切っていました。枝は、色鉛筆作りをして、伐った木を使い切ることも覚えてもらいました。

50回の全活動を、大きなケガもなく無事に終わることができホッとしています。モリイコ！を始めて3年、延べ140人の子どもたちが参加しました。活動終了後の保護者のアンケートではモリイコ！に参加させてよかったという意見がほとんどです。これは私たちがモリイコ！を続けていく中で、とても励みになっています。4月以降、モリイコ！事業の継続は今の時点では未定ですが、モリイコ！に限らず、たくさんの方に森の楽しさや魅力を伝えていきたいと思えます。

☆3月の作業は…

3月はササ刈りなどを行います。お昼は春の味を味わおうと思います。冬眠から目覚めて、一緒に森で体を動かしましょう！

